

# 浜中町立散布小中学校だより

## 第 6 号



発行者 散布小中学校

校 長 大 山 淳 子

発行日 令和7年9月30日（金）

進んで  
やりぬく  
子ども

### ＝学校教育目標＝

- みんな仲良く生活する子どもになろう
- 深く考え進んで勉強する子どもになろう
- 健康な体と心をつくる子どもになろう
- きまりを守り最後までやりぬく子どもになろう
- 身のまわりを美しくできる子どもになろう



### 『夢へ向かって、一歩ずつ』

校長 大 山 淳 子

秋の深まりとともに、校庭の木々も色づき始め、子どもたちの元気な声が響く季節となりました。2学期も振り返しを迎え、小学校では修学旅行や遠足、中学校では職業体験、そして期末テストと、大きな行事が続きました。子どもたちはそれぞれの場面で多くのことを学び、心も体も大きく成長しています。

小学校の修学旅行では、普段の学校生活では味わえない貴重な体験ができました。友達と協力して計画を立て、公共の場でのマナーを守りながら、歴史や文化に触れることができました。旅先での新しい発見や、友達との絆を深める時間は、子どもたちにとって一生の思い出となることでしょう。

中学校の職業体験では、地域の事業所や施設で実際に働く方々とふれあい、社会の一員としての責任ややりがいを学びました。初めての体験に緊張しながらも、自分の役割を果たそうと一生懸命取り組む姿が印象的でした。「働くことの大変さ」「人と協力することの大切さ」「感謝の気持ち」など、教室では学べない多くのことを感じ取ったようです。

また、期末テストでは、日々の学習の成果を発揮しようと、子どもたちは真剣な表情で問題に取り組んでいました。思うようにいかなかったこともあったかもしれませんが、努力した過程こそが大切です。テストは単なる結果だけでなく、自分の得意なことや課題を見つけ、次への目標を立てる大切な機会です。

これらの行事や日々の学びを通して、私が子どもたちに伝えたいことがあります。それは、「夢の実現のためには、日々のあたりまえのことをきちんとできることが大切だ」ということです。

大きな夢や目標を持つことは素晴らしいことですが、それを叶えるためには、毎日の小さな積み重ねが欠かせません。朝のあいさつ、時間を守ること、友達への思いやり、宿題や学習にしっかり取り組むこと——こうした「あたりまえ」のことを丁寧に続けることが、やがて大きな力となり、夢への道を切り拓いてくれます。

そして、もう一つ大切にしてほしいのは、「失敗しても、次に前向きに取り組めばよい」ということです。誰でも失敗やうまくいかないことはあります。しかし、そこであきらめず、「次はこうしてみよう」「今度はもっと頑張ろう」と前向きな気持ちで挑戦し続けることが、成長につながります。修学旅行や職業体験、テスト勉強の中でも、思い通りにいかなかったことや、悔しい思いをしたことがあったかもしれませんが、その経験こそが、次へのステップとなります。失敗を恐れず、一歩ずつ前に進んでいってほしいと願っています。

季節の変わり目、体調を崩しやすい時期でもあります。どうぞご自愛のうえ、実り多き秋をお過ごしください。

#### 【追伸】

小中一貫型小学校・中学校導入に向けて、第1回開設推進委員会を開催し、今後の検討内容や推進スケジュールを確認しました。浜中町のHPにも会議記録を掲載していますのでご覧ください。

行事や下校時刻は、あくまでも予定です。週ごとの学年通信等でご確認ください。

日 曜	10月 の 行 事 予 定	小:下校	中:下校
1 水	中:英検 IBA 中:生徒会役員選挙	14:20	14:20
2 木		14:20/15:20	15:20
3 金	前期終了 就学時健診 英語検定	14:20/15:20	15:20
4 土			
5 日			
6 月	後期開始 朝会 文化祭特別時間開始 小:スクールカウンセラー来校日	14:20/15:20	15:20
7 火		14:20/15:20	15:20
8 水	中3:学力テスト総合B	14:20/15:20	15:20
9 木		14:20	15:20
10 金		14:20/15:20	15:20
11 土			
12 日			
13 月	スポーツの日		
14 火		14:20/15:20	15:20
15 水		14:20/15:20	15:20
16 木	色覚検査 中2:性の学習 小中一貫教育校開設推進委員会②	14:20/15:20	15:20
17 金	色覚検査 小12:社会見学	14:20/15:20	15:20
18 土	ミカミ杯バドミントン大会		
19 日			
20 月	朝会 ハき地校体験教育実習(～31日)	14:20/15:20	15:20
21 火		14:20/15:20	15:20
22 水	文化祭総練習 職員会議	14:20	14:20
23 木	小:移動図書	14:20/15:20	15:20
24 金	中:移動図書 漢字検定	14:20/15:20	15:20
25 土			
26 日	文化祭	12:00	12:00
27 月	振替休業日		
28 火		14:20/15:20	15:20
29 水		14:20/15:20	15:20
30 木	中1:性の学習	14:20/15:20	15:20
31 金	中:委員会 中:スクールカウンセラー来校日	14:20/15:20	15:20



## 小：シマフクロウ・エイド活動

9月2日(火)、NPO 法人シマフクロウ・エイドの菅野さんを講師にお迎えし、森林での学習活動を行いました。絶滅が危惧されているシマフクロウは、豊かな自然環境の中でしか生きていけません。森林を流れる川はやがて海へとつながっており、森を守ることは、そのまま海の環境保全にもつながっていきます。自然の中の循環の仕組みや、命と命のつながりを、実際の環境に触れながら学べる貴重な機会となりました。

この活動は、数年前から継続して取り組んでいるもので、地域の自然や生態系について理解を深める大切な学習の場となっています。今回は、過去に自分たちが植えた苗木の成長を観察するとともに、新たな苗木の植樹も行いました。中にはかなりの大きさにまで育った木もあり、手をかけてきた自然が確かに息づいていることを感じることができました。子どもたちは、目の前の木々に成長の証を見つけながら、自然の力や時間の積み重ねの大切さに気づく姿も見られました。

森の再生を願いながら、一本一本の苗木を丁寧に植える子どもたちの姿がとても印象的で、自然への思いや未来を見据えた行動の大切さが伝わってきました。今回の体験を通して、森と海、そして私たちの暮らしが深く関わっていることを改めて実感し、環境保全への理解と意識を確実に高めることができました。今後も身近な自然への関心を持ち続け、学びを日々の行動につなげていく力を育んでいきます。



## 中23：職業体験学習

9月25日(木)26日(金)の2日間、中学校の2・3年生が職業体験学習を行いました。厚岸町内の自動車ディーラーや小売店、幼稚園、美容室、道の駅、図書館など、さまざまな事業所にご協力いただき、生徒たちは実際の現場で仕事に取り組みました。

初日は緊張した表情で職場に向かった生徒も、次第に自信をもって動けるようになり、働くことの責任や大変さ、やりがいを体験できました。「立ちっぱなしで疲れた」「思った以上に大変だった」「へとへとになった」という声の一方で、「子どもと関わるのが楽しかった」「ありがたうと言われてうれしかった」という前向きな感想も多く聞かれました。

生徒たちは社会の厳しさを実感し、自分の適性や将来について考える貴重な機会となりました。働く人々の努力や思いに触れ、感謝の気持ちや人との関わりの大切さにも気づけたようです。

ご協力いただいた事業所の皆様には、温かいご指導をいただき心より感謝申し上げます。今回の経験を今後の進路や生活にしっかり生かしていきます。



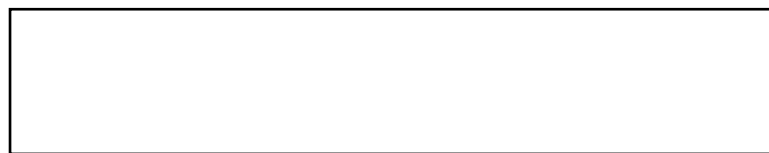
## 小：水泳学習

夏休み明けの8月下旬から9月初旬にかけて、全校児童を対象に水泳学習を3回実施しました。限られた回数ながら、毎回目標を持って取り組む姿が多く見られ、子どもたちの成長が感じられました。

1回目は久しぶりのプールで、水に慣れることや基本動作、安全確認を中心に行いました。最初は水に顔をつけるのをためらう子もいましたが、次第に笑顔で取り組む様子が増えました。2回目以降は、習熟度に応じてけのびやバタ足、クロールなどに挑戦しました。

回を重ねるごとに「前より長く泳げた」「顔をつけて進めた」という声がかかれ、できることが増える喜びを実感。仲間と励まし合いながら取り組む姿も多く、水泳を通じて心の成長も感じられる学びとなりました。

短い期間でしたが、一人ひとりが目標に向かって粘り強く取り組み、達成感を味わいました。今後も経験を重ねて自信と意欲を育んでいきます。



## 小56：修学旅行に行ってきました

小学校5・6年生は、9月18日(水)・19日(木)の2日間、標津・羅臼方面への修学旅行に出かけました。豊かな自然や文化、歴史にふれることで、多くの学びと気づきを得る機会となりました。

鹿の角を使ったクラフト体験では、自分だけのペンダントを丁寧に作り上げ、ものづくりの楽しさと達成感を味わいました。ヒグマについての講話では、実際に骨や毛皮に触れる体験を通じて、命の重さや自然との共生の大切さを学びました。さらに、勾玉づくりや縄文土器の見学では、地域の歴史や人々の暮らしに目を向ける貴重な学びの場となりました。また、サーモンパークでは鮭の成長について学ぶことももちろん、魚とのふれあい体験も行うことができました。

中でも子どもたちの記憶に強く残ったのが、船でのホエールウォッチング体験です。風が強く波も高い中、船の上で全身に波を浴びながらクジラの姿を目にした子どもたちは、大自然の迫力と神秘を体感し、感動を口々に語っていました。

訪問先や宿泊先での食事、味・量ともに充実しており、「全部食べきれないほどだった」「はじめての料理もおいしかった」と、食の体験も子どもたちの成長につながるものとなりました。

どの施設でも、地域の皆様が子どもたちを温かく迎えてくださり、その優しさや真心が、旅全体の印象をより深く心に残るものとしてくれました。見学や体験の一つひとつが、地域の方々の支えによって成り立っていることを実感する2日間となりました。

今回の修学旅行で得た学びや気づきは、子どもたちのこれからの成長を力強く支える確かな土台となります。学校としても、この経験を日々の教育活動につなげ、子どもたちのさらなる成長を確かなものとしていきます。



## 小中一貫教育校開設に向けて ～第1回推進委員会を開催～

散布小中学校では、現在の小中併置校のスタイルから、より一体的で継続性のある教育を実現する小中一貫教育校への移行に向けて、9月11日(木)、第1回「小中一貫教育校開設推進委員会」を開催しました。この委員会は、学校・地域・保護者・関係機関が連携し、新たな学校づくりを共に進めていくことを目的として設置されたものです。

冒頭では、校長より委員会設置の趣旨や、小中一貫教育の意義、今後の方向性などについて丁寧な説明がありました。続いて、地域代表・保護者代表・教育関係者からなる委員および事務局メンバーの紹介が行われ、会長・副会長が委員の中から選出されました。

議事では、まず今後の推進委員会の運営について協議が行われ、委員会は原則として月1回のペースで継続的に開催することが確認されました。また、制服や校則など具体的な課題については、推進委員会の下に設ける専門委員会を検討し、丁寧に議論を重ねながら進めていく方針が示されました。専門委員会のメンバーは、保護者の中から選出し、推進委員も分担して参加する予定です。

続く意見交換では、「新しい学校づくりに向けての地域・保護者の願い」をテーマに、活発な議論が交わされました。子どもたちの主体性を育む教育の推進や、明確な学校ビジョンの発信の必要性、児童・生徒一人ひとりが輝ける場をつくることの大切さなどが共有されました。また、小中の学びのつながりを意識した定期テストの早期導入、学習意欲を高める工夫、異学年交流の推進、小さな成功体験を重ねることの意義についても前向きな提案が寄せられました。

さらに、地域の多様な意見を取り入れながら、子どもたちが安心して学べる環境づくりや、地域との連携をより深めるための具体的な方法についても話し合われました。

今後も地域と学校が一体となって、子どもたちの未来を見据えた学校づくりを丁寧に進めてまいります。委員会の活動の様子については、今後も学校だより等で随時ご紹介してまいります。

【委員のみなさま】

(順不同)

